学校番号	T3024

令和元年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新高等保健体育 改訂版（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・運動をすると、さわやかな気分になったり、心地よさを味わうことができます。運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・現代社会で健康を保持増進していくためには、生涯にわたって運動に親しむことが必要です。基礎・基本的な運動技能を高め、運動の仕方を身につけられるような授業を行います。
・体育の授業を通じて、自己やグループの能力と運動の特性について学び、工夫して自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して運動できること。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活においても生かせるよう、運動の合理的な行い方を身につけ、健康についての知識や理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・積極的に運動しているか。 ・協力して運動しているか。 ・健康や安全に注意しているか。	・課題を見つけ出しているか。 ・課題の解決をめざして、運動の仕方を工夫しているか。	・技能を高めているか。 ・体力を高めているか。	運動の合理的な行い方を身につけているか。 ・運動の仕方や体力の高め方を理解しているか。 ・種目の特性、ルールや審判法を理解していか。
評価方法	受講態度の観察 試合結果などの分析等	受講態度の観察	技能観察 試合結果などの分析等	技能観察 生徒間での実技方法の観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	集団行動・体つくり運動	・オリエンテーション ・体つくり運動 ・体力を高める運動	○	○		○	a:体つくり運動の心地よさを味わうことができるように意欲的に取り組んでいる。 b:全身運動や部位別運動などの課題に応じた取り組みをしている。 d:運動の意義、怪我の予防等を理解している。	受講状況観察 生徒間での実技方法の観察
	バトミントン	・ラケットの握り方・スイングを理解させる。 ・複数のフライトを理解させる。 ・ラリーの連続回数を競そわせる。 ・自由練習から、攻防の楽しさを理解させる。 ・シングルス・ダブルスのゲームを行い、攻防の楽しさを理解させる。	○	○	○	○	a:技能の段階に応じて、相手と協力し教えあったり励ましあったりする。 b:ペアや自分の達成状況を捉え、練習の仕方を見直したりする。 c:技能の段階に応じて、相手と攻防ににあった練習やゲームをすることができる。 d:技能を高めるための練習の仕方を理解し、ゲームの知識を身につける。	受講状況観察 技能観察 試合結果の分析 生徒間での実技方法の観察
	バレーボール	・パスの種類、サーブ、スパイクの基本技能を学ぶ。 ・トス・サーブレシーブ・スパイクレシーブの発展練習を学ぶ。 ・フォーメーションの理解と簡易ゲーム。	○	○	○	○	a:練習やゲームで、自分の役割を果たし、お互い助け合い積極的に協力しようとする。 b:チームや自分の達成状況を捉え、練習やゲームで合理的な課題を設定している。 c:基本技能を身につけ練習やゲームをすることができる。 d:ルール、競技の基本的な技能のしくみについて知っている。	受講状況観察 技能観察 試合結果の分析 生徒間での実技方法の観察
後期	バスケットボール	・パス、キャッチ、いろいろな投げ方の基本技能を学ぶ。 ・ドリブル、ボールコントロールの基本技能を学ぶ。 ・シュート、パスからのコンビネーション、ディフェンスを学びゲームを楽しむ。	○	○	○	○	a:互いに協力しながら、積極的に取り組んでいる。 b:各技能を、相手と協調し合理的に実践している。 c:基本技能を身につけ、練習やゲームで活用できる。 d:学んだ技能を理解し、協力しながらゲームを楽しむことができる。	受講状況観察 技能観察 試合結果の分析 生徒間での実技方法の観察

後期	ソフトボール	・スローイング、バッティング、ピッチングの基本理解。 ・ゴロ、フライの捕球。 ・ルール、安全面・注意点の理解。 ・9人制の試合を行う。	○	○	○	○	a:楽しさを味わえるように自分の役割を果たし、協力して励ましあって取り組んでいる。 b:技能の段階に応じて、練習方法を工夫している。 c:自分の技能に応じてゲームをすることができる。 d:技能を高めるための練習の仕方を理解し、ゲームの知識を持っている。	受講状況観察 技能観察 試合結果の分析 生徒間での実技方法の観察
	持久走	・3000mを30分以内に完走する。 ・自身の体調や体力に応じたペース設定ができるようにする。	○	○	○	○	a:各自の能力に応じた目標記録を設定して走る。 b:１周あたりのペース判断、リズムよく走るペースをつかむ。 c:各自の記録が向上しているか。 d:適切な腕の振り、足の運び、呼吸のリズムを拾得する。	受講状況観察 技能観察
	サッカー	・インステップキック、インサイドキックなどの基本的な蹴り方の理解。 ・トラップ技術によるボールコントロールの理解。 ・フットサル	○	○	○	○	a:楽しく励ましあい安全に留意しながら練習やゲームをしている。 b:チームや個人でどんな技術、手法が有効かをみつける。 c:練習した個人技能がゲームで発揮できる。 d:サッカーは技術と戦略の上でゲームを楽しむことを知る。	受講状況観察 技能観察 試合結果の分析 生徒間での実技方法の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。